



第 2 号



小布施の
をさがす



TAKE FREE



小布施の「い」をさがす。

CONTENTS

- 04 「い」からはじまる小布施町、おしえてください。
- 06 移住
- 18 特集 いちご
- 20 いちむら -和菓子 いちむら-
- 21 岩本さん -岩本 敦-
- 22 岩崎 -小布施 岩崎-
- 23 いす -obuse bench-
- 24 岩太郎
- 25 オブセにナンカ妖怪
- 26 おばあちゃんの背中
- 29 編集後記



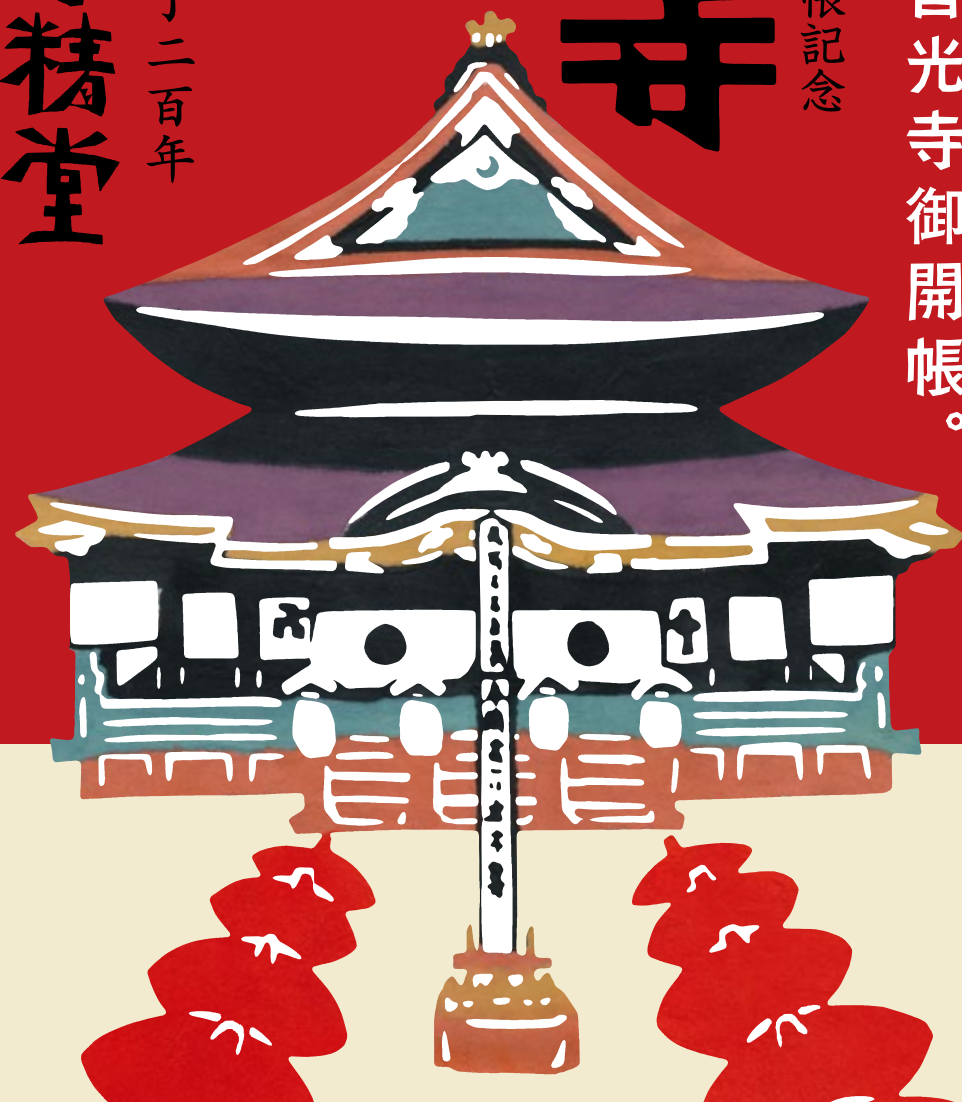
桜井◎甘精堂

信州小布施で栗菓子二百年

善光寺 落雁

善光寺前立本尊御開帳記念

い
よいよ、善光寺御開帳。





いつもの散歩コース

いぬも歩きは小布施町でワンダホー

犬も楽しめる街

犬と一緒に来た小布施はいつも楽しい

今から散歩小布施町

いつ来ても楽しいワ

いっしょに又来よう。小布施

いぬも遊べるいい街

いっしょにいちご

いっしょにぎやか小布施町

いっしょに文も文も小布施町

いつでも行きたい小布施

「い」からはじまる小布施町、おしえてください。

いつも笑顔で元気に!!

いっしょに

小布施町いっしょになろう

意外と人気が

いっしょに歩こう小布施へ穀平みど

いぬにやわらかいアリスのドッグラン

犬にもやさしい

いっしょに遊ぶ

いっしょに遊ぶ

犬とでも楽しい

イガグリ

number.01
い
じゅう「移住」

自分がここに住むことになったら、
いったいどんなふうに暮らしていくんだろう。
小布施を訪れたみなさん、
そんなことを考えたりしませんか？

自分が住んでいる小布施、
いったい他の土地の人からはどう見えているんだろう。
小布施に暮らすみなさん、
そんなことを考えたりしませんか？

観光資源に富む小布施ですが、
その魅力はそれだけじゃない。
住んでいる人みんなが
「この町で暮らしていて良かった」って思える何かが、
ここ小布施にはあるのではないだろうか。
（みんなの笑顔がその証拠、そう思いませんか？）

そこで。

「い」号の特集として、
あいうえおぶせは「移住」に注目しました。
外から見た小布施。
中から見た小布施。
小布施に暮らすみなさん、
外の人からはこんなに素敵に見えてますよ。
小布施を訪れるみなさん、
住んでみたらきっと
こんな暮らしが待ってますよ。
小布施に暮らす「よそのもの」たちのものがたり、
ささやかながら集めてみました。
読み終えたら、ほら、
次はあなたのものがたりが始まります。

number.01
い
じゅう - contents -

- 08 移住にまつわるスモールトーク
chapter1. 小布施堂の、金石さんと西山さん。
- 12 移住にまつわるスモールトーク
chapter2. 小布施『よそのもの』座談会。
- 16 移住指南 教えて!! だいとくさん!!
コラム おぶせ第二町民ツアー

金石さん
「曳家の見学が小布施と関わるきっかけでした」

金石さんは大学進学を機に長野へと転居。小布施との縁は大学で研究していた「曳家（ひきや）」がそのはじまりだったそう。「大学の修士課程

金石さんと西山さん
2014年12月6日、小布施にて「第3回2014COREZO（コレゾ）賞表彰式」が開催されました。COREZO賞とはCOREZO財団があらゆる分野、業種、職種での「コレゾ」ホンモノという「人」を選出して表彰する賞。そのCOREZO賞にて「おもしろい人が集まる仕組みをつくろうとして、いつの間にかやら小布施のおもしろい人になっていた、よそ者、若者（期限間近）、バカ者」賞（名称長っ）を受賞したのが小布施堂の金石健太さんと西山哲雄さんです。

受賞名称に『よそ者』というキーワードが入っているとおり、金石さんは千葉の船橋出身、そして西山さんは静岡の沼津出身。「移住」を体現し、小布施で活躍している二人に小布施と関わるきっかけから現在の立ち位置、そして未来のビジョンをうかがいました。

では建物の移動工事である『曳家』について、調査研究をしていました。大学院の一年目に小布施を歩いていて、たまたま曳家をしている現場を見かけて。職人さんと直接お話をし、曳家の見学をしたのが小布施と関わる最初のきっかけでした（金石さん）

その頃、小布施では文化振興イベント「小布施ツシヨン」が盛り上がりを見せていました。外部から講師

金石 健太 Kenta Kaneishi
株式会社小布施堂にて製造部長として勤務。1979年生まれの千葉県船橋市出身。小布施との関わりは大学での曳家研究から。取材時にはキレとテンポのある語り口で小布施との関わりについてお話してくださりました。



（左）こちらが件の達磨窯。火入れ最中の模様です。（右下）「夜の達磨窯、土の質感とオレンジ色の炎。私の大好きな光景です（金石さん）」



を招いて情報交換を行った後に参加者みんなが食事を楽しむという『小布施ツシヨン』。この『小布施ツシヨン』への参加をきっかけに、金石さんは急速に小布施に惹き付けられていきます。

「最初は本当に軽い気持ちでした。著名な建築家が来るし、学生は無料って聞いたので『タダでメシが食えるぞ』と（笑）。でも実際に参加した時のイ

西山さん
「若者に期待をかける小布施の懐の深さを感じましたね」

小布施ツシヨン、そして小布施町にただならぬ魅力を感じた金石さん。同じ大学の同じ研究室にいた西山さんを小布施ツシヨンに誘い、西山さんと小布施との繋がりがそこから生まれます。「当時、瓦が僕の研究テーマでした。『小布施ツシヨン』のトピックが自分の研究テーマに近い内容のものであったので、小布施には月イチ以上のペースで通っていましたが、大学生なんていってもなんにもできないわけじゃないですか。それでも一人前として見てくれて、

ンパクトはすごかった。自分の父親くらしい年齢の大人たちが、真剣に夢を語っているんです。『俺の知っている大人とは全然違うぞ』と。もう直感的にこの町は楽しいと思って翌日も小布施を訪れ、町の草むしりに参加していました。そこからはもう小布施に入り浸っていましたね。大学院の後半なんかは朝起きて小布施に向かい、そこから『授業行っちゃいます』と大学に戻るといって謎の生活を送っていました（金石さん）」



chapter1. 小布施堂の、金石さんと西山さん。

「おもしろい人が集まる仕組みをつくろうとして、いつの間にかやら小布施のおもしろい人になっていた、よそ者、若者（期限間近）、バカ者」賞、堂々受賞。なんとなく小布施と関り始めた若者二人が十年の時をいかに過ごしてきたか。移住までの二人が歩んだものがたり、存分におうかがいしてまいりました。少しの行動と自分の興味関心に素直であること。そこには不思議と運命の出会いが訪れます。

小布施 de フリマ

古着、小物、手作り雑貨など
リユース品をお気軽に
お買い求めください！

みんなで3エコ(Ecology・Economy・Echo)活動を実践!!
環境やお財布にやさしく交流が広がるフリマにでかけよう！

5月24日 9月27日

雨天中止

会場 小布施総合公園

時間 10:00~15:00

入場料
無料

同日
開催!!

小布施森の演奏会

日時 2015年5月24日(日)
10:00~15:00

場所 小布施総合公園野外ステージ

料金 入場無料

雨天 総合公園管理棟にて開催

出演予定 Queen's Tears Honny
藤森 敬一(雪化粧ボーカル)
他 地元音楽家7組

【小布施 森の演奏会とは】
「音楽の楽しみをすべての人へ」をテーマに、地元の音楽愛好家や県内で活動するミュージシャンを中心に
行われるコンサート。第一回は2014年9月に「あいこちゃんの心臓移植を応援するためのチャリティ
コンサート」として行われましたが、「小布施 森の演奏会」と名称を変更して、今回 第2回目の開催!

【主催】信州アカペラ協賛会



移住にまつわるスモールトーク

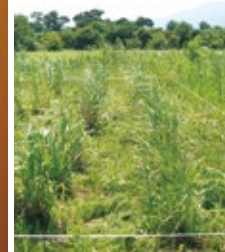
期待をかけてくれるところに小布施の懐の深さを感じました(西山さん)その後、二人は修景事業を入り口に小布施堂へと入社。茅刈りや瓦を焼く「達磨窯」の立ち上げなど、自分たちの興味の進む方向に邁進していきます。現在は金石さんも西山さんも小布施堂の仕事が忙しく、実質的に修景事業は休止状態ではあるものの、「早く釜に火を入れたい、いつでも思っていますよ(金石さん)」と話すとおろ、まだまだ今後の動きも期待しているのこも。

「人」で動く小布施

小布施の特徴ということについて尋ねると、二人ともキーワードは「人」であるとのこと。「小布施だと話の単位が「人」になる。〇〇って会社がこれをやってて」ではなく、あくまで「〇〇さんって人がこういうことを出来て」みたいな感じ。小布施ツッショで話していてもまづは意見交換とか、会話が先行する。その後で名刺交換をしてその人がどういう人か知るとっていう形が小布施ならではののかも(金石さん)「町の規模もあるのかも知れないけれど、面白い人がぎゅっと凝縮されている印象がありますね(西山さん)」



西山哲雄 Tetsuo Nishiyama
株式会社小布施堂にて仕入部長として勤務。1980年生まれの静岡県沼津市出身。小布施との関わりは金石さんの誘いによる「小布施ツッショ」の参加から。一言一言に思慮を重ねながらお話しする姿からは内に秘めた熱い思いが伝わりました。



自分のやりたいことをやること、その近くで刺激を受けること

最後に今後の二人の展望についてもおうかがいしました。「特に小布施を盛り上げていこうっていう使命感のようなものを強くもっているわけではないけれど、自分が盛り上がりたいていう意識はありますね。小布施って何が仕事なんだか分からないけどなんだか

妙に面白いことをやっている人がすごく多くて。そんなふうに自分になっていくにはどうしたらいいか、一旗上げる準備段階として色々いまは模索しているところですね(金石さん)「今後小布施にいる面白いことをしている人たちから刺激を受け続けていたいですね。小布施には「自分がやりたいと思うことをやる」って考える人が多い。そういう存在に自分になれるか、なりたかいていうとあんまり考えたこと



(右)小布施の茅場。「この写真で茅の生育状態がわかるかたは、かなりの茅マニアです(西山さん)」(下)達磨窯でのワークショップの様子。自分で焼いた瓦を手にする瞬間の楽しさ、想像するだけでわくわくしますよね。

がなくて。向き不向きもありますしね。だけど、「俺はこれをやるんだだけ」って誰かが旗を上げた時に、それが見えるところにいたい、その近くにいたいなとは思っています(西山さん)

カラダとココロの感覚に馴染むものを見つけること

また、小布施の魅力という点では金石さんからこんなエピソードが。「小布施の魅力みたいなものっていうと、うーん、そうそう普段住んで良かったって感じることはないけど、例えば朝早くに出勤する時とかに眠いなって思いながらも北信五岳の山の高いところから順々に光がかがって明るくなってくるのを見る時とか、「うお、信州やべえ」って思ったり。いや、そんなに山が好きっていうわけでもないけど、そういうところに気づく感性が宿るといふか。東京のベッドタウン住まいで朝マンションに陽が当たって「すごいきれいだな」と思うっていうのはなかなか難しいだろうし(金石さん)茅刈りや瓦焼き、通勤の風景。その手触りや匂いや光などなど、それぞれのカラダとココロの感覚に馴染むものを二人は小布施に見いだしたのかも知れません。

フリマ人気ランキング

- 1位 婦人服 子供服
- 2位 若者向け 古着
- 3位 雑貨

その他お歳暮の残り品などの日用品、家電、手作り品、ちりめん細工等も人気です。

フリマ出店者大募集!

出店料 1,000円 手持ち出店(2m×2m) 60ブース
車出店(車+2m×2m) 40ブース
(小布施町民500円) ※出店場所は当日先着順 ※出店者受付8:30~

お問合せ・お申し込みはホームページから 小布施 フリマ 検索

<http://obusefurima.net/>

主催 O.M.C(小布施まち創りクラス)
後援 小布施町 協賛 山岸園

小布施とそれぞれの関わり

まずはそれぞれが小布施と関わるようになった経緯と現在の小布施との関わりについて教えてください。

勝亦さん（以下 勝亦）「僕は最初は学生として小布施に来て、居候生活を経て10年目にして今の場所にとどまっています。今はア・ラ・小布施で移住支援コーディネーターとして移住希望者の窓口となつて相談を受けています。」

大徳さん（以下 大徳）「そう。オフィシャルな視察のアテンドは勝亦さんが担当、オフィシャルでないものは僕に話が回ってきます（笑）。僕はじゃらんリサーチセンターという組織から2年前に小布施に出向してきました。行政の依頼で移住施策を行い、今までに100組以上の方々に小布施を案内してきました。」

深川さん（以下 深川）「大徳ツアー」（笑）。

大徳「そう、『大徳ツアー』。土日に仕事でもないのに観光客に声をかけて小布施案内をしたりしています。最初は知り合いも小布施に関



移住にまつわる スモールトーク @あいうえおぶせ

chapter2. 小布施『よそのもの』座談会。

勝亦 達夫 × 深川 悠 × 大徳 孝幸



移住の窓口としてそれぞれの立場で小布施町と小布施に興味を持つ人を繋いでいるア・ラ・小布施の勝亦さん、役場の深川さん、そして民間企業から小布施に出向してきた大徳さん。実はこの3人も小布施に移住してきた『よそのもの』。

移住の手ほどきをする立場、そして自らが移住をしてきた立場、その両方の目線から小布施への移住について自由に（本当に自由に）語ってもらいました。食べて飲んで話して笑っての3時間。

『よそのもの』の目線から見る小布施と移住についての大放談、存分にお楽しみください！



勝亦 達夫 Tatsuhiro Katsumata
静岡県出身。まちづくり研究所の設立を機に小布施町へ。現在、ア・ラ・小布施で移住支援コーディネーターとして活躍中。趣味は「やたら細かいことを気にすること（座談会当日はLED電球について熱く語っておいりました）。」ウイスキーはスコッチ党ですが、この日最終的に飲んでいたのは白州の水割りでした。

する知識も全然乏しかったから。案内していたら知識もついてくるし、町の人に観光客のみなさんを紹介しつつ、自分のことも知ってもらおう。そのうちに町民の人とい関係が作れるようになってきたかも」

勝亦「深ちゃんは今、観光客相手というよりはさらにコアな部分での移住・定住に関わっているよね。」

深川「そうですね。僕は4年前に小布施役場に就職して現在は産業振興グループという部署に所属しています。主に新規就農の支援を業務として行っています。」

勝亦「深ちゃんの手がける農業って最たる『定住』だからね。例えていうなら400年続く企業を作りなさいっていうようなものだから。本当は『移住』の完成系が『定住』で。その入り口は『交流』だったり『観光』だったり。」

大徳「まさにその通りで。僕らが観光で来る人を案内したりしていることって『交流』なんですよね。」

勝亦「交流のための施策、移住のための施策、定住のための施策、それをしつかり定義立てて分けていかないといけないのかも。」

『よそのもの』が小布施にとけ込んでいくということ。

「なるほど、自らが移住してきた経験を踏まえつつ、移住について案内する。それで小布施を多角的に捉えることが出来るのかも知れませんが、移住を考えている人にとっては『その町にとけこむこと』が出来るか」という点が懸念事項になっている部分もあると思います。小布施ではそのあたりの「地域に馴染む」ことの難しさはあるのでしょうか？」

勝亦「深ちゃんは馴染むまで早かったよね？」

深川「はい、確かに僕は早かったと思います。もともと移住の前から小布施のリングを熊本に送っている団体の方と関わりがあったので、その団体の人の手ほどきで家も決まったりして。他にも『風の会』っていうウォーキングの会があって、その散歩の会に参加したので何故か『深川君の結婚式を私たちのウォーキングのイベントでやりましょう』ってなって（笑）、その方々の手作りで結婚式をやってもら



大徳 孝幸 Takayuki Daitoku

福岡県出身。じゃらんりサーチセンターより小布施町に出向、移住コーディネーターとして小布施町への移住相談・支援に奔走。趣味は土日の小布施案内、通称「大徳ツアー」。この日最終的に飲んでいたのは熱燗。

深川「ぼくら『よそのの』にできることって、町の人がやっていることに参加して、本気になって一緒に楽しむことなんじゃないかなと思います。町の人に巻き込まれるというか、それでお互いに満足感とか充実感、『この町に居てよかった』っていう感情を共有するのが大事なかなと。」

勝亦「もう一つ、ぼくら『よそのの』が『小布施ってこんなに面白いんだよ』っていうことを積極的に発信していく必要があるんじゃないかなって思う。さっきの『小布施の人たちは自分たちでなんでも出て来て楽しめちゃう』っていう小布施の人たちの気質の話の裏返しになるんですけど、自分たちが楽しむことが第一で、外に対して発信するところがあるような気がするし。」

大徳「そうですね。移住の可能性

深川「当たり前かも知れないけれど、波長が合えば敷居は低い。小布施への移住が実現する人って、バシッとハマる出会いがあった人が多い。」

大徳「感覚が近い人に最初に出会えるのとけ込みやすいと思います。それにしても深川さんはハマりすぎたよね。何度イベントで焼きそばを作ってる深川さんを見たことか(笑)。」

大徳「小布施の人たちってみんなバイタリテイに溢れてて、いろんなことが自分たちでできちゃうっていうのがすごいところですよ。自分たちが楽しいと思うことに對してまっすぐ向き合ってるというか。」

深川「そう、スブラッシュゴーカー



深川 悠 Yu Fukagawa

熊本県出身。4年前に小布施役場に就職し、産業振興グループに所属。新規就農の支援に従事。趣味は野外フェス。「年に数回はあの首冠を浴びないとダメ」とのことです。この日最終的に飲んでいたのは焼酎。

ー歴史的な背景から小布施の気質を俯瞰するというのも面白いですね。それでは『よそのの』の立場から見て「小布施らしさ」ってどういうところにあると思いますか？

トっていう、ゴーカート競走のイベントなんかほんとそんな感じだった。最初に軽く打ち合わせして『あとは各々でやってください』って(笑)。それでもう全てが出来上がっちゃうっていう。」

勝亦「そうそう、そしてやり始めるとみんな本気になっていくという。最近思うんですよ、『じゃあこの町でできないことってなんだろう？』って。いろいろ考えてみるんだけど、だいたいのことってなんか実現できちゃいそうな気がするんで

と将来性がすごくある町ですよ、小布施は。」

『よそのの』先達の移住のススメ。

ーそれでは最後に、小布施に移住したいと考えている人にアドバイスというか、「一言お願いします。」

勝亦「是非『移住』の先にある『定住』を意識してみてください。とは言うものの、感情論は数式じゃないですからね。小布施に来て直感を働かせて、実際に自分がここで暮らしていくイメージを膨らませていただければと思います。」

大徳「『移住』を現実にするために、もう一步自分の気持ちを深く見つめてみてはどうでしょう。漠然とした『田舎に住みたい』という意識から『どんな田舎に住みたいのか』と考えを深めていって根源的な理由に迫っていく。これが移住成功の秘訣の一つです。」

深川「小布施での人と人との出会いを楽しんでもらえればなと思います。ふらっとア・ラ・小布施の夜のバーイベントに訪れた人たちが町の未来について気楽に話して

すよね、小布施なら。最終的にロケットを打ち上げるくらいはできるんじゃないかなって思う(笑)。」

深川「ほんとそう、なんでも出来ちゃいそうですね。誰かが手を挙げたら、なんかどんどん動いて行く。」

大徳「あと、人との距離感が近いっていうのも小布施ならではの魅力だと思います。僕は立場上、東京と小布施を行ったり来たりしているけど、小布施のほうで圧倒的に人との出会いがあるように感じます。普通の観光客から公人も含め、出会いの質と量はすごいものがありますね。」

町の人と一緒に暮らしを楽しむこと、そして小布施の魅力を発信すること。

ー確かに小布施の活動ってすごくエネルギーを感じますね。町のイベントごと一つにしてもすごく活気がある。ではそんなエネルギーが小布施の人たちと過剰に接していくにあたって『よそのの』だから出来ることというのはあるのでしょうか？

いたりもする。いい出会いがあれば『自分もこの町の一部なんだ』って意識も強く持てるだろうし、そうすると毎日の暮らしも断然楽しくなりますよ！」

ー本日は長い時間、ありがとうございました！

取材協力
三国屋

小布施町小布施上原 859-3
☎ 026-247-2439
ランチタイム 11:30～14:00
ティータイム 14:00～15:00
(15:00～18:00はお休み)
夜18:00～22:00ラストオーダー
月曜定休(火曜は夜のみ営業)

LAMPで トウギャザーしようぜ!!



LAMP常連
D徳さん

※この方はLAMPスタッフではありません。安心してご来館くださいませ。



LAMP
GUEST HOUSE & RESTAURANT

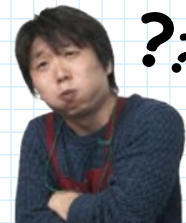
☎026-258-2978

389-1303 長野県上水内郡信濃町野尻 379-2
open: 11:30-23:00 (22:30 L.O.)

Lunch / 11:30-13:30 Dinner / 18:00-21:30
Bar / 21:30-23:00

1泊2,700円〜 closed: 月曜夜・火曜
<http://sundayplanning.com/lamp/>

📱 サンデープランニング・ゲストハウスLamp

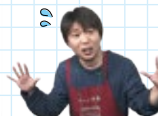


教えて!!
だいとくさん!!

いざ小布施へ移住! って気分の方のために、前ページの座談会の補習(?)として大徳さんに移住の手ほどきを聞いてきちゃいました。よく考えて、そして何よりも行動! 踏み出しましょう、小布施移住の第一歩!

Q.1

小布施に移住します! もう決めました! 小布施に骨を埋める覚悟です!
どこに相談したらいいですか! 早く教えてください! さあ早く!



まずは落ち着いてください(笑)。移住相談の窓口になるのは以下の4カ所。
それぞれの特徴を捉えて、自分にフィットしそうな入口を選んで小布施移住の
ファーストステップを進めてください!

case1

気楽にお茶を飲みながら、
かる〜くゆる〜く移住につ
いて聞いてみたい。

case2

観光ついでに移住について
さっと聞いてみたいかな。

case3

移住、本気です。マジです。
詳細をガッツリ聞かせてく
ださい!

case4

まずは小布施の面白い人た
ちとつながってみたい!

ア・ラ・小布施

ア・ラ・小布施では行政と
は別に移住相談を受け付け
ることが可能です。喫茶や
ゲストハウスもあり、珈琲
を飲みながら気軽に訪れる
ことができます。

ア・ラ・小布施
〒381-0201 小布施町大字小布施 789-1
026-247-5050

文化観光協会

観光協会は駅前にあり、役場
とも連携しています。詳しい話
を聞きたい場合はここから役
場の担当者に繋いでもらうの
が早いので、こちらで移住相
談をされる方も多いです。

小布施町文化観光協会
〒381-0201 小布施町小布施 1497-2
026-214-6300

役場(定住交流グループ)

小布施町としては今後、移
住や交流に力を入れていき
ます。空家情報や移住に関
する補助金など、具体的な
話を聞きたい場合は役場に
足を運んでください。

小布施町役場定住交流グルー
〒381-0201 小布施町小布施 1491-2
026-214-9102

**慶應SDM・小布施町
ソーシャルデザインセンター**

現在、若者と小布施町との
様々な交流事業を仕掛けてい
るのがこの研究所。町の様々
な人に繋いでもらえます。どん
な人がこの町に住んでいるの
かを知りたい場合は、こちらへ!

※連絡先は小布施町役場定住交
流グループと共通です

Q.2

移住する際に、しっかり考えなければならないことって
どんなことですか?

01 車の免許は必須!

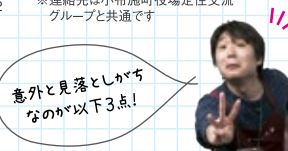
コンビニまで徒歩20分〜30分は当
たり前。何をしても自動車は必
須です。

**02 地域の歴史的背景・
気質をよく知ること!**

移住者に対しオープンな地域や閉鎖的な地域
など、エリア毎に特色があります。どんな雰
囲気の地域に住みたいのか、ある程度具体的
なイメージを持つ事が移住成功の秘訣です。

03 地方は都会よりも不便!

地方は不便という前提を忘れて「東京ではこ
うだった」という主張をされる方が多いのが
実情です。地方は不便だからこそ、東京に人
が流入している。まずここを覚悟しましょう!



もっと小布施に興味を持ったら...

行きは観光、帰りは町民。
「第二町民ツアー」はいかがでしょう?

いきなりの移住にハードルを感じるみなさん、まずは「第二町民ツアー」に
参加してみたいかな? 移住の手ほどきを聞いてきちゃいました。よく考えて、そして何よりも行動! 踏み出しましょう、小布施移住の第一歩!

第二町民ツアーは面白い生き方、暮らし方、働き方をしている小布施人に注目
し、小布施というまちを観光より一歩深いところまで味わうことが出来るイ
ベントです。ツアー参加者を「おぶせ第二町民」に認定し、「第二町民認定証」
を交付。第二町民になると、旬の小布施の情報が届いたり、小布施に滞在す
る際に様々な「インフラ」をサポートしてもらえたりと特典も満載です。
まちあるきや小布施の人々との対話を通して、気楽に小布施に深く入り込める
第二町民ツアー、オススメです!

▶ 毎月第4土曜・日曜開催 <http://2nd.town>

浄光寺訪問ではお茶を淹れてくれたり、雪合戦をしたり、
栗あんや餅を食べたり、雪合戦をしたり、
町民ツアーというだけでなく、
小布施のよりコアな場所、そこに
近づくことができるツアーだと思いました!



福岡から参加の広島有倫さん

04



5 パティスリーロント

「ヴァレ デ フレーズ」(1月～5月頃)

ホール3,240円(税込)／1ピース453円(税込)

毎年楽しみにしているファンも多い、ロントの人気スイーツのひとつ。カスタードのバタークリームのかさといちごの酸味は相性抜群、甘ささっぱり感を楽しんで！

●長野県上高井郡小布施町中町534／☎026-247-2057／9時30分～19時／火曜定休

05



6 昆なり旬粋

「小布施産いちごとチーズケーキクレープ」

600円(税込) (2月21日～*数量限定販売)

小布施産の新鮮な「あきひめ」を使用。濃厚な「チーズケーキ」、「パイ」、「ホイップクリーム」がたっぷり。一緒に食べればまるで「いちごのミルフィーユ」!! ケーキのようなクレープを是非お楽しみください。

●長野県上高井郡小布施町小布施上町西側977
☎026-247-6780／10時～16時

06



4 ICHI cafe

「ごろごろいちごとチョコレート」

390円(税込) (～5月中旬頃)

関谷ファームの大粒の「あきひめ」を贅沢に使用した、食べ応え十分のクロワッサンサンド。生クリーム、チョコレートクリーム、そして何よりいちごの甘みとクロワッサンの塩気の相性が良く、ペロリと食べてしまいます！

●長野県上高井郡小布施町福原213-6／☎026-405-7207／10時～サンドイッチ無くなり次第終了／木曜定休・他不定休 ※3月下旬より小布施オープンオアシス1Fに移転

number.02

い

ちご【莓】

01



1 桜井甘精堂 栗の木テラス

「紅ほっぺタルト」(2月末～5月上旬頃)

ホール2,450円(税込)／1ピース390円(税込)

小布施ベリファームの「紅ほっぺ」をたっぷり乗せた贅沢なタルト。地元産のイチゴだから新鮮。カスタードとの相性も抜群。旬の美味しさを是非味わって！

●長野県上高井郡小布施町小布施784／☎026-247-5848／10時～L018時／水曜定休

03



3 小布施堂

「栗あん大福 莓」

378円(税込) (3月中旬～4月末頃)

栗と砂糖だけで練り上げた風味豊かな栗あんを小布施の「紅ほっぺ」を包みました。甘酸っぱい莓のおいしさと、小布施ならではの濃厚な栗あんとが2度おいしい莓の大福です。

●長野県上高井郡小布施町小布施808／☎026-247-2027／9時～17時

02



2 関谷ファーム

「あきひめ」「紅ほっぺ」(～6月頃)

300g／～500円(税込)

※季節や大きさによって値段が変わります。

大粒で甘みたっぷりの「あきひめ」と、ほどよい酸味と糖度のバランスが魅力の「紅ほっぺ」。24ページで紹介した岩太郎で購入できます。地産地消、小布施の「朝採りイチゴ」で叶えましょう！

●長野県上高井郡小布施町大字小布施436／☎026-247-6670／10時～イチゴ終わる次第閉店／不定休

number.03
い
ちむら

小布施町・上町

小布施の事情通の支持を集める、
やわらかな味わいの創作和菓子。



こじんまりとしているながら採光たっぷりの店内。うらかな休日の昼下がりにはぴったりです。



店主の市村多喜子さん。柔らかな雰囲気の人柄は作り出すお菓子にも通じるものがあります。



見た目にもこだわり、お皿もお菓子に合わせてチョイス。なんとも贅沢ですね。

知 人を知る。そんな言葉がびったりはまる、素敵な和菓子のお店が小布施にあるって知ってました？

栗の小径の北側の入り口にはど近い、曲がり角の少し奥にある「和菓子 いちむら」。軒先にかかる濃紺の暖簾はまさに「隠れ家」のたまたま。こじんまりとした店内で、創作和菓子とお抹茶を楽しめます。「見ていてきれいで心がなごむようなお菓子、そして自分が食べたいと思えるものを作るといことは常に忘れずにいます」こう柔らかな笑顔で話すのは店主の市村多喜子さん。和菓子好きが高じて和菓子の大家である金塚晴子さんに師事し、そこで身につけたエッセンスに地元の食材をかけたあわせ、創作和菓子を小布施から発信しています。

「和菓子はもともと、季節とともにあるものですからね（市村さん）」と話すのとおり、月代わりで季節ごとの旬の食材を贅沢に使った2、3種類の創作和菓子を用意。どのお菓子の見た目もどこか和やかでやさしい



和菓子 いちむら

小布施町小布施802
☎ 026-247-2639
土・日 店頭販売11:00～なくなり次第終了 ※予約すると確実です／平日
予約注文・配達・発送のみ

number.04
い
わもとさん

小布施町・押羽

いい感じの空気感とインテリジェンスで、
「小布施スノーボード農家」という
ライフスタイルを体現するオトコ。

春 から夏にかけて桃を育て、冬はスノーボードのインストラクターという一年を送るスノーボード農家。そんな理想的なライフスタイルを体現している「いい感じのオトコ」が小布施にいます。

「初めて小布施に来た印象は『ゴミのないきれいな町』。ああこの町は意識レベルが高いんだと思いました。町中のいたるところで果樹園を目にするし、中心部にはちゃんと活気がある。もうその足で役場に向かい『就農したいんです』と掛け合いました。そのまま役場の担当の方に連れられて果樹園に向かい摘みだてのさくらんぼを口にして。もうここの、と思いました」と話す岩本敦さん。自らの健康への意識の高まりをきっかけに農業へと興味を持ち始めたということですが、聞けばマーケ

ティング関連の知識も深く、農業の未来展望や社会の潮流まで見定めた上で農業の世界に飛び込んだとのこと。

戦略的に緻密に農業を進めつつも「スノーボードをやっている人でも、30歳を過ぎると『山を下りる』人が多い。でも自分はスノーボードはただのスポーツではなくライフスタイルだと思っています。ずっと続けていきたいんですよ」と語り、肩の力を抜いてリラックスした毎日を送る岩本さん。これもひとつの「シアワセな小布施スタイル」でしょうか。

そして岩本さんは東京出身、巻頭特集のみなさんと同様に「移住組」。ただの夢で終わらない小布施ライフ、こんな風を実現している人がいるなんてとても素敵ですね。



岩本さんが育てているのは紅錦香（くにか）とネクタリンという品種。こんな「いい感じのオトコ」が心血を注いで作った桃、味わってみたいくなりますよね。



岩本さんの桃を使った「生ジャム（650円）」も販売しています。購入・お問い合わせは岩本さんのfacebookページ（www.facebook.com/atsushi.iwamoto.967）へ。また「地産品の生産、流通、販売に興味がある人、手伝ってみたい人を随時募集しています（岩本さん）」とのことなので、志のある方は是非！

写 真をごらんください。椅子。そうなんです。イスです。雪融けの早春になると小布施橋近くの土手沿いに現れるこのイス。その美しいフォルムから平凡なイスではないことは感じるかと思いますが、ええ、もちろんストーリーリーがあるんです。

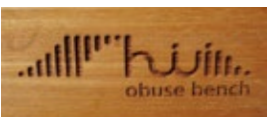
このイスのデザイナーはなんと小布施をふらっと訪れた外国人カナダ出身のウィリアム・セ・ラミーさんの手によるものなんです。肩書きは『旅する3Dデザイナー』。ある時ふらっと小布施に訪れ、いつの間にか小布施に馴染んでいたウィリアムさん。真っ先に仲良くなったのは本誌前号でも登場した『遊び人』の小林秀樹さんでした。

北信五岳と北斎の波。
デザインで繋いだのは
旅する3Dデザイナー。
自然豊かな小布施へ、
カナダから愛を込めて。

number.06
いす
【椅子】
小布施橋・土手沿い



このイスの他にも、小布施周辺にはウィリアムさんの作品が多く残されています。本誌あいうえおぶせの次号は「う」。そして「ウ」イリアムさん。もうみなさん、わかりますよね？乞うご期待！



人と人との関わりの中でさらに輝きを増すのがウィリアムさんの作品の特徴のひとつ。写真はウィリアムさんご本人と小林秀樹さん。国を越えた二人の友情、この写真で十分伝わりますよね！



「なんか町の中、スーパーのカゴを自転車にくくりつけたおかしな外国人がふらふらしていると思ったらそいつがウィリアムでさ。しばらく一緒に過ごしているうちに、ウィリアムがすつと俺のところに来说うわけ。『お世話になつてばかりだし、ヒデキ、ボクにもキミの仕事を手伝わせてくれないか？』って。いやいやいやって軽くあしらった翌日にウィリアムがものすごい3Dのイラストを持ってきて。『マジかよ』ってうなったね（小林さん）」

このイスのデザインのモチーフは山と波。北信五岳を望む千曲川沿いに位置し、富嶽三十六景で力強く波を描いた葛飾北斎に縁のある小布施。その土地で使われることとありきで創り上げられた、風景と調和する美しいデザインは、ローカルカルチャーの洗練された成功例として高い評価を集め、遠く神奈川や富山から行政の視察も訪れました。

現在は故郷のカナダで活躍しているウィリアムさん。満開の桜の下、このイスに腰掛け、旅の途中でこの小布施の美しい風景を眺めたウィリアムさんと心を重ねてみてはいかがでしょう。



人気パン『チェルシーパンズ』の想いがつなぐ、小布施とカナダと昔と今。

number.05
い
わさき
【岩崎】
小布施町・中町

津 々浦々、どこの街にも、地元民の住民みんなに愛されているパン屋さんってありますよね。お店の前を通りかかると、ふんわり漂う焼きたてのパンの匂い。毎週決まった曜日に買いにいってお気に入りのパン。そんなみんなの心をふっと和ませる昔ながらの街のパン屋さん、小布施だったからこそ『小布施岩崎』。

創業はなんと文久三年（1862年）！150年以上の歴史を誇ります。バタークリームのかき出しの味わいとレトロな包装が人気の牛乳パン（季節限定）、そして玄米パンや胚芽パンなどの日替わりパンのラインナップだけでも、もちろん充分に魅力的なのですがイチオシはやっぱ「チェルシーパンズ」！レーズンとクルミをふんだんに使い、シナモンとカラメル香ばしいその甘さはまるでタルトのよう。55年前に先代の岩崎小弥太さんと当時の新生病院総婦長ミス・パウさんの心の交流から誕生し、今

も当時と変わらない味と形で愛され続けています。小弥太さんとパウさんの交流は「チェルシーパンズ物語」として絵本にもなっているんですよ！

店内にはもちろんその絵本も展示されていたり、小弥太さんとパウさんの写真が飾られていたり55年前の当時をしのばせつつ、さらには創業からの和菓子、そして洋菓子の伝統も守った上でも今も元気に「街のパン屋さん」として老若男女に愛される『小布施岩崎』。想いと年月の積み重ねが生み出した奇跡のパン、チェルシーパンズを是非一度味わってみたい。



「おかげさまで近隣のホテル、レストランでもうちのパンはご好評をいただいています。和菓子、洋菓子の評判も良いですよ」とおっとり話す岩崎幸津枝（こづえ）さん。この日も常連さんが次々と訪れ、あっという間にチェルシーパンズは完売してしまいました。



小布施 岩崎

小布施町大字小布施620-1
☎ 026-247-2200
10:00～17:00 日曜は13時まで（要予約）水曜定休
<http://www.obuseiwasaki.jp/>





水車小屋をリノベーションした、人が集う直売所。
土壁と木の梁が印象的なレトロで心地よい空間は、
ご先祖さまのお導きから。

自然豊かな小布施で農園を営む関谷ファーム。さまざま

な農作物が自家製堆肥や漢方を使いながら丁寧に育てられています。小布施町内の飲食店で使われていると、地元でも人気が高い関谷ファームの農作物。プロの目利きを選ぶ食材ってあこがれますよね。

そんな関谷ファームの直売所「岩太郎」がこの2月に東町の交差点の近くにオープンしました。明治大正期の水車小屋をリノベーションして作り上げられた岩太郎。什器やドアの取っ手にも小屋の中から出てきた古民具が使われています。

「直売所というよりは、ミニギャラリー？アトリエ？イベントスペースというのかな、人が気軽に集まれるようなそんな場所になっていけばいいと思います」と話す関谷ファームの関谷光子さん。5月の連休にガラス工芸作家さんの個展も予定されていて、ここから

素敵な何かが少しずつ発信されていきそうです。

小屋の中から「関谷」と刻印された古民具が沢山出てきたところから、先祖の関谷岩太郎さんのお名前を頂戴して『岩太郎』と名付けられたこの空間。その関谷岩太郎さん、どうやら大勢の人を惹き付ける魅力の持ち主だったということ。『ここにいと不思議と落ち着くんです』と話す光子さんも岩太郎さんに引き寄せられたのかも知れません。



岩太郎（関谷ファーム直売所）

小布施町小布施436
☎ 026-247-6670 10:00~14:00
<http://www.obusekiya.com>
岩太郎では個展等での利用者を随時募集しています。興味のある方は上記までご連絡を。



創

刊号から話題沸騰、「自分も妖怪に！」と思う人が続出するという社会現象まで発生したという説もある（一）、小布施の名士を妖怪イラストにするこの連載企画「オブセにナンカ妖怪」。今回は書道家、市村明久さんがそのターゲットに！

近頃専寿を迎えた市村明久さん、教員生活を経た後に小布施ミュージアムと高井鴻山記念館の館長をつとめ、現在はご退職されて、小布施で悠々自適に過ごしています。書道のキャリアは実に六十年以上。実は市村さんの手による刻字が小布施の数多くのお店や寺社や公共施設の看板で使われているんです。みなさん、ご存知でしたか？

市村邸、門構えからしてなかなか味わい深い。緑深く、苔むした庭の小径からもうそれとなく妖怪気分をソッパられま

す。「庭なんか手入れしないでもうそのまんまにしますね、ほら、れは飽きちゃってうういうじゃない、庭もおんなじなんだよ、ワハハ、さ、あがってあがって」そんなコメントとニコニコした笑顔で玄関先で迎えてくれた市村さん。軒先には膨大な数のひょうたんや民芸品が。我々に妖怪認定されるために仕込んだんじゃないかなろうかと思うほどに色々ハマリまわっています。



愛犬であるヨークシャーテリアのゆずちゃんのお話（ちなみに「ゆず」「トマト」「サラダ」「マッペンロー」と市村さんのペット名付けのセンスは抜群）から市村さん

退職祝いの貴重な逸品である筆にも関わらずこんな感じで乗ってくれる市村さん。まさに気さくなご隠居さま。イカサマ！



の身の丈以上もある大筆や、当時の給料一ヶ月分に当たったという年代モノの巨大な硯など、様々な突っ込みどころで盛り上がりつつも、どんな話題からでも最終的にはトピックが日本の文化芸術と日本の将来、そしてそれを担っていく子どもたちのことになり着く市村さん。巨大筆で妖怪倶楽部の面々に必殺技を披露という段でも「こういう大きな筆を子どもたちを集めてみんなに作らせて『高井鴻山にちようせん！』みたいな催しをやったら面白いよね」と、小布施の子どもたちへのやさしい気持ちがお話の端々から溢れ出ておりました。

狗寶さん

（くひんさん）
全国を飛び回り、子供に見聞したことを伝えている。手に持つ大筆で小布施町の様々な場所に筆跡を残す。





当時の写真を
お借りいたしました



レシピでつながる 〰 むかしの台所といまのキッチン

取材・文
ICHI cafe ICHI子



おばあちゃんの背中

Vol.2 イワイさん(80才)のアマランサスの蒸しパン

おばあちゃんのお手製料理のレシピをお宅訪問取材、調理中のライブレポートとともに紹介する『おばあちゃんの背中』。今回はイワイさんのアマランサスの蒸しパン。近年、雑穀ブームで注目されているアマランサスですが、実は小布施とアマランサス、20年前から始まるストーリーでつながっているんです。

「い」

「で始まる方を探して3ヶ月。やっとたどり着いたのがイワイさん：そこで伺ったのが「アマランサス」初めて聞くワード：」

たしか《ままかり》の語源は、あまりの美味しさにご飯がなくなってしまう隣からご飯を借りてまで食べたから：《アマランサス》も、てっきりあまりの美味しさにひとつも「余らんさ」と、沖縄方面から広まった言葉かと思いきや、まったく違うようです：すみません：

アマランサスとは、古代アステカやインカ帝国の重要な穀物。帝国の滅亡以降「見失われた古代穀物」でしたが、1975年、米国で有望な作物として着目され広まったそうです。花は鑑賞用、葉は野菜、種は穀物：優れた栄養特性を持つこの種は、精白米に比べ鉄分は50倍、カルシウムは28倍と、かなり高栄養価。

ここ小布施町でも、1994年から2006年3月までのおよそ12年間、アマランサスの生産・加工で、町おこしを目的とした会がありました。

元保健福祉委員だった方を中心に16名のスタート：その中の一人がイワイさん：どんな調理が良いかあれこれ試行錯誤の結果、その葉も種も入った《アマランサスのせんべい》が完成：町内で販売するまでに

ありませんか。ならばと、即変更！

皆様の経験と記憶を頼りにまずは試作から。「アマランサスは粉の大体2割ぐらい、ふくらし粉入れて、蒸すと香ばしくてふくらした蒸しパンが出来る」って：なんだか漠然とした感じで内心トッテモ心配でした。試作したものを持って行くと「発OK！やってみるものですね。」

作り方は至ってシンプル。まずはアマランサスの種をフライパンで焦がさないように炒る。熱いうちに粉に引く。この粉にする為の道具がステキ：

「よめっ子さん」：当時全員が持っていたのでそれぞれちゃんと名前が書いてある：

次にボールに三温糖と卵黄を入れ、泡立て器でおよそ倍になるまで混ぜる。そこに溶かしておいたバターと牛乳を加える。小麦粉とアマランサスの粉、もち粉とベーキングパウダーを2回に分けて加え、ザックリと混ぜる。最後にはちみつとしょうゆを入れ軽く混ぜ、型に流して10分蒸す：この時炒った状態のアマランサスをバラバラと飾りに使っても良い：モチツとしてしっとりした蒸しパンの出来上がり！

おじいちゃんの代から70年の家業を継承している息子さんに、お母さんのアマランサスの思い出ってなんですか？と訊ねると「鶏卵アレルギーの自分に、全草植物のアマラン

なり、週に2回、保育園のおやつとしても定着していたそうです。

アマランサスのせんべい

いは手づくり：だから注文が入ると会員に召集がかかる：農繁期になると集まるのは数人：その数人の中には

いつもイワイさんが居ました。子ども達に「アマランサスのおばちゃん」と認識され、そう言われるのが嬉しくて、皆にまた食べさせてあげたい気持ちと、ご主人の理解があったから続けてこれたそうです。いつも「気を付けて行ってこいな」と、快く送り出してくれたご主人も12年前に他界：小布施町に嫁いだのは25歳の時。4人の息子さんも立派に育て上げられ、今も現役で計算機をたたく日々。厚々とした年季の入った帳簿は貴塚があります。懐かしさ、そしてかっこいい：

こんな素敵な活動があったことや、アマランサスのせんべいのレシピをどうしても残したいと思い、イワイさん以外にも会の皆様に集まって頂きました。

ですがこのせんべい：気軽に作れるとは言いがたい、心が折れそうになっていると、「蒸しパンなら気軽に作れるよ」と：言うじや

サスを食べさせようと《食べ易い》レシピとが大変だったと思う：と真摯に語って下さいました。

（質問するとき、つい「思い出は？たといばいっぱい食べさせられたとか：」と、心無い言葉を発した自分が恥ずかしい：）「自分がサスを持って解った。息子4人はさぞかし大変だったと思う：」母の背中を見て感じているそうです：

後日、町内でイワイさんを見かけました：

背筋を伸ばし、肘を張り、少し前のめりで、向かい風の中、自転車漕ぎイワイさん。なんだか涙が出てきました。その背中があまりにもかっこよくて：



- アマランサスの蒸しパン(15個分)
- 小麦粉 70%
 - アマランサス 15%
 - もち粉 15%
 - 三温糖 80%
 - 卵黄 2個
 - 牛乳 100cc
 - ベーキングパウダー 5%
 - はちみつ 10%
 - バター 20%
 - しょうゆ 太さじ1/2



アマランサスの花



あいうえおぶせに協賛してくださっている方々を紹介します！



sandwich & coffee

ICHI cafe

小布施町福原213-6
tel.026-405-7207



Japan Obuse Committee

Japan Obuse Committee
一般社団法人日本小布施機構



ツタハウス

長野市権堂町 2341-1
www.facebook.com/tsutahouse

懲りずに
やります★

今号で取材した全てのもの・人・お店に訪れ、証拠写真を送ってくださった方、先着3名様に「い」のつく、小布施町の何かいいものをプレゼントいたします。

※今号で紹介した人とは2ショット写真を撮り、いちごは紹介したものを全て食べることが条件。

応募先

► aiueobuse@gmail.com

締切：「う」号発行日まで

「あいうえおぶせ」を置いてくださる方
「あいうえおぶせ」に協賛してくださる方
「あいうえおぶせ」に広告を出してくださる方

を大募集しております。「う」号を発行するために…
みなさんのお力が必要です。

い号もこの編集後記を書き終ればとうとう完成となります。今回は本当に辛かった。何が辛かったって、極寒のなか、スクッチブック片手に犬を探しまわったことが本当に辛かった。犬は全然いなし、写真と撮ると必ず目を向いてくれない。それでも全く撮影に協力してくださった皆さま、あんなに素敵な写真に仕上げてくれた坂本氏には本当に感謝しています。「ね」まですは置く(かり)時間があふれるのもっと安心してます。「う」で牛はやりません。(編集 かわうち)

知らない町を自転車で駆け抜ける時のあの感覚が大好きです。「あの角の先にあるんだろう」とか「ここに暮らすならあの八百屋で買い物をするんだろうな」とか、目の前を流れる風景の中に想像上の自分を置いて、ゆるい坂道をサッと下っていきあの感じ。移住特集を組みながら、ジム・ジャームッシュ監督の「ストレンジジャー・ザン・パラダイス」という映画の話を思い出していました。映画の内容とは全く関係なく「ストレンジジャー」「パラダイス」という語感からなのでした。よそのも、楽園、そして少し不思議な空気感も持った小布施の人も、この一冊で、それぞれの馴染みの居場所を新しく見つけていただければ本望です。(編集 M)

あいうえおぶせ 第2号 小布施の「い」をさがす

発行日／2015年3月21日

編集・発行



MOUNTAIN DRIVE lab.

<http://www.aiueobuse.net> とってもがんばって準備中

<http://www.facebook.com/aiueobuse> (Facebook)

おばあちゃんの背中 取材・文協力

松澤ゆかり (ICHI cafe)

オブセにナンカ妖怪 取材・イラスト・写真協力

妖怪倶楽部のみなさま

写真協力 (P4・5)

坂本拓磨 (LODEC Japan)

文章提供 (P16)

大德孝幸

お問い合わせ



 MOUNTAIN DRIVE lab. (マウンテンドライブ ラボ)

あいうえおぶせ編集部 aiueobuse@gmail.com

次号は…



次は「う」で始まる小布施。本号の取材と合わせて次号の取材も並行して少しずつ進めるといふ小賢しさを身につけた『あいうえおぶせ』。次のネタはあれかな？これかな？と何が来るかも楽しみにしつつ、次号「う」もご期待くださいませ！





い
まはむかし、
竹の中に水栗羊羹ありけり。

みずみずしい青竹の中から、
するりと顔を出す淡い栗色の水羊羹。
見た目にも涼しいこの一品、
一足早めのあたたかい季節のこあひさつに、
つるんなめらかな味わいを
是非お楽しみください。



ここには、水がある。

アウトドア県
NAGANO、
進行中！

“企画書公開中”

詳細はFacebookページ「アウトドア県」へ！
<https://www.facebook.com/outdoor.pref.nagano>

アウトドア県
NAGANO

大町市木崎湖

標高764mの糸魚川静岡構造線による地溝上に出来た断層性構造湖。西側には飛騨山脈（北アルプス）がそびえる。夏はウェイクボード、バナナボート、カヌー、SUP、釣りなどが盛ん。湖畔でのキャンプも人気。



和菓子を季節とともに。



ろとりどりの



むつき、きさらぎ、やよい、うづき。
さつき、みなづき、ふづき、はづき。
五感で味わう季節にひとつ。
そのときどきのいろどり添えて、
和菓子の歳時記、めしあがれ。



和菓子 いちむら

381-0201 小布施町小布施802 【土・日】店頭販売11:00～なくなり次第終了
tel.026-247-2639 (店内でもお召し上がりいただけます)
【平 日】予約注文・配達・発送のみ